

－ 高槻さくらフォーラム － **議会だより** 平成27年
高槻市議会議員 田村規子の **議会だより** 初春

発行者：高槻市議会議員 田村規子 事務所/高槻市梶原1-10-6 TEL684-2220 FAX669-7588



高槻市議会議員

田村規子(たむらのりこ)

★昭和38年5月高槻市梶原生まれ(旧姓・長谷川規子)

★高槻市立五領小学校、五領中学校、ノートルダム女学院高校、京都ノートルダム女子大学卒業

★京都宝ヶ池プリンスホテルに5年間勤務

★社会保険労務士。

★平成23年高槻市議会議員に初当選。すべての市民が元気で明るく暮らせる、コミュニケーションあふれるまちづくりを目指して活動中。

4年連続決算審査特別委員

平成25年度高槻市一般会計歳入歳出決算をはじめ、13件についての審査のため、決算審査特別委員会が10月に開かれました。決算審査特別委員は市議会の3人以上の会派から選出された10名の委員で構成され、田村規子も委員を務めました。

また、平成26年12月定例会が12月2日から19日までの18日間の会期で行われました。



12月議会

芥川学童保育室3室目整備決定!

待機児童がある芥川学童保育室の整備として、2階建ての学童保育室の新築に係る設計委託のため、750万円の補正予算が可決された。

高槻クリーンセンター第1工場の更新予算増額

平成26年度の当初予算で、第1工場の更新費用は約100億円で可決されていたが、業者の入札が不調となった。市民生活に支障をきたさないために、今年度中に入札を行うことが求められている。多方面から発注内容を精査し、他市の入札状況や資材費、人件費

の上昇などを考慮した結果、更新事業限度額は約50億円の増額が必要となり、またその期間が4年から3年延長し、150億円の債務負担額が平成26年度から33年度までの8年間で可決された。

台風11号の災害復旧に2400万円計上

平成26年8月の台風11号による災害復旧のために必要な予算を計上し、さらに地元要望などによる水路などの浚渫や、災害用土の配布などの事前対応を

行った。そのため、今後の予定事業が執行できないことから2400万円の補正予算が可決された。

市議会の定例会について

通常、年に4回の定例会(議会)が行なわれます。

3月議会

4月からの新年度の当初予算などを審議(市長選挙の年は6月議会)

6月・12月議会

補正予算などを審議

9月議会

前年度の決算審査など



決算審査特別委員会

9月議会において、決算審査特別委員会に付託された、平成25年度高槻市一般会計歳入歳出決算など13件について、10月20日、21日、23日、24日の計4日間にわたり委員会を開き、田村規子も委員として審査しました。そして、12月議会ですべて承認されました。田村規子が20数項目にわたり、委員会質疑をした、その主な項目は以下の通りです。

- 定住人口増加のための、プロモーション事業についての効果
- 災害時の備蓄食料品に関し、特に民間企業などの協力による流通備蓄の取り組み
- 生活保護年金調査員の効果と、生活保護受給者にとっての効果
- 市役所庁舎前のムクドリ被害の対策
- 35人学級における障がいを持つ児童の処遇
- 中学校の武道必修化における指導体制
- 道徳の副読本の家庭への持ち帰り
- 上牧地域への市営バスの運行状況、利用状況と地域住民の利便性

新名神・交通体系等対策特別委員会

平成26年10月3日に、事業進捗を確認するため、当特別委員会で現地視察を行いました。原地区では、芥川橋と神峰山トンネルを視察、



成合地区では、高槻インターチェンジと、高槻ジャンクションの工事を視察しました。

さらに、平成26年11月12日、当特別委員会が行なわれ、平成25年度から事業着手している「市道萩之庄

梶原線」の第2期、第3期の整備期間の見直しについての説明があり、田村規子から、その詳細説明を求め、当初の予定より遅れることなく整備ができること、また見直し内容を地域住民にいていねいに説明することを要望しました。



めざせ!未来の防災リーダー

防災副読本「たかつきの防災」が、関西大学社会安全学部、亀井克之研究室の協力によりできあがりしました。市内小学校5年生に配布をして、随時各校で活用していくことになります。災害に対する準備をすることで、災害が起こったときの被害を少なくすることができます。子供たちに「未来の防災リーダー」を目指してほしい。



いよいよ開始!3月初旬。上牧駅自動図書貸出返却コーナー!

上牧駅前行政サービスコーナー横に、3月初旬より自動図書貸出返却コーナーのサービスが始まります。詳細は、広報たかつきDAYSの2月号にも掲載。

高槻市中消防署富田分署移転候補地に植木団地跡地

昭和42年に建築された中消防署富田分署は、敷地が狭隘で訓練に支障があるなど課題が多い。また市の南部地域に応援消防部隊が集結し部隊を展開するための拠点施設整備が急務となっている。植木団地跡地については、高槻市公共用地跡地等検討委員会での審

議を経て以下の施設を基軸として方針決定されました。(1)雨水貯蓄施設(2)取水口(3)(仮称)川添公園(4)高槻市中消防署富田分署(5)大規模災害時の消防救援拠点(6)消防団訓練場(消防ポンプ車操法等訓練場)

